

1学年だより 『七中PRIDE』

第20号 平成30年3月2日発行

来週は卒業式! ～感謝を込めて送りだそう～



3月に入り、寒さもようやく落ち着いてきて、暖かな日差しが感じられるようになってきました。学校では、来週の卒業式に向けて全校練習が始まりました。

卒業式は学校行事の中で最も大切な行事の1つです。最初の卒業式練習で校長先生が、「思いを形で表そう」という話をされました。卒業式は厳粛な式典です。皆さんはいろいろな場面で3年生に支えられてこの1年を過ごしてきましたが、感謝の気持ちを式の途中で言葉で表すことはできません。では、感謝の気持ちをどのように表せば良いのでしょうか。

式には型があります。まずはその型をしっかり守って行動することが形で表すこととなります。具体的には、座っているときの姿勢やみんなと合わせて礼をすること、大きな声で歌うことになると思います。

みんなの感謝の思いを形で表せば、きっと卒業生にとって思い出になる卒業式になるでしょう。それを続けていくことが七葉中の伝統となり「七中PRIDE」となるのです。みんなでいい卒業式を創りあげましょう。



“感動” 平昌オリンピック

先日まで熱戦を繰り広げていた平昌オリンピックが閉幕しました。4年に一度の開催となるオリンピックにかけてきたアスリートのパフォーマンスにたくさんの感動をもらいました。

メダルを獲得した選手も取れなかった選手も、競技後のコメントにそれぞれの思いが込められていて、オリンピックの舞台に立つまでに多くの困難を乗り越えてきたようすが伝わってきました。

新潟県村上市出身のメダリストといえば平野歩夢選手ですが、ソチに続き今回の平昌でも銀メダル獲得ということで、すばらしい結果だったと思います。試合後、平野選手は「やりたくない事に挑戦してきたことが多かったので、何かやっぱり楽しい事より、嫌な事だらけでしたね。」とコメントしています。素直な感想だと思う反面、金メダルを目指して相当な努力を重ねてきた事が伝わります。

一流のアスリートは、言い訳せず、自分の目標達成に向けて、困難な事から逃げずに頑張っていることが分かります。見た目の華やかさの裏には、それを支える努力が必要だという事を、今回のオリンピックでも教えられた気がします。



「卒業」で一句

日本語学習で俳句を学習しています。今回は「卒業」をテーマに俳句をつくり、短冊の色紙に筆で清書しました。できあがった作品を3年生に見てもらい、良いと思った作品を選んでもらいました。入賞作品を紹介します。

3	佳作	さようなら 別れのなら 笑顔の 咲くには
3	佳作	高校は たがいは がんばり だけ
2	優秀賞	泣かぬなら 泣かせて 卒業式
2	優秀賞	涙する あこがれた 人の 卒業に
1	最優秀賞	桜咲く 彼らの 光あれ ゆくてに

【今後の予定】(3月5日～3月18日)

日	曜日	授業	連絡等
5	月	月1・2・3・練・準備	卒業式練習 前日準備
6	火	卒業証書授与式	給食なし 臨時バス 12:10 発
7	水	総復習テスト・学	
8	木	木1・2・3・4・5・6	(8～13日は2年生の修学旅行
9	金	金1・2・3・4・5・6	と代休のため変則的な時間割に
10	土		なります。)
11	日		
12	月	月1・総合(グルメコンテスト)	
13	火	火1・3・4・5・6	
14	水	月4・水3・4・5・学	
15	木	火4・5・6・木4・5	給食最終日 専門委員会
16	金	金1・2・3	部活等で弁当が必要な場合あり
17	土		
18	日		